[redacted]

[redacted]

[redacted] (Electrocardiography) [redacted] [redacted] (ECG) [redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]:

- [redacted] (Electrocardiography)
- [redacted]
- [redacted]

[redacted] (ECG) [redacted] MRI [redacted] (DNA [redacted]) [redacted]

[redacted](Echo) [redacted]

- [redacted] (Echocardiography) (Echo) [redacted] (MRI) [redacted])。
- [redacted](Electrocardiography (ECG) [redacted] (MRI) [redacted])
- [redacted] (Electrocardiography)
- [redacted] (Echocardiography)[redacted] (Echo) [redacted]
- [redacted] (Electrocardiography)
- [redacted] (Electrocardiography) [redacted]

標的の状態 (特定の疾患、疾患の段階、健康の状態、または他の特定可能な状態や事象)

課題

遺伝子データおよびゲノムデータを扱う研究者にとって特有の倫理的な課題があります。プライバシーを考慮して、データを非公開にすることや、治験の参加者が何に同意しているのかを理解できるようにすること (インフォームドコンセント) が重要です。

患者の特定の部分集団を標的とする医薬品に関してでさえ、「同じ疾患」を有する患者で異なるサブグループに属する患者がその医薬品を処方されることは依然として起こりえます。これにより、次のような結果がもたらされる場合があります。

治療に対する反応が欠けること
患者に対するより良い治療が遅れること
医薬品それ自体が無駄になること
避けることのできた副作用が生じること。

患者の経験

個別化医療では、個々の人の健康についてはるかに多くの情報を提供することが可能となり、そのことが個人的な意味合いを持ち、潜在的に生き方が変わる可能性があります。患者はその準備ができているでしょうか。医療従事者はそのことについて患者とコミュニケーションを取るスキルがあり、その準備もできているでしょうか。

個別化医療では、疾患のある患者は治療に先立ち、次のように安心できる情報を持たなければなりません。

医薬品が自分に効く可能性があること、および
特定の治療で副作用に苦しむ可能性が低いこと。

副作用が避けられない場合、副作用に関して、さらに副作用の重症度に関してよりよくわかっていることで、患者が治療を決定し、その計画を立て、日常生活に合わせることがより簡単になるはずです。

患者と医師のコミュニケーション

一般的には、個別化医療では、患者や医師が理解し議論できる、利用可能な治療オプションについてより多くの、あるいは様々な情報が存在する可能性があります。このことを難しいと思う患者は医師からの適切なサポートが必要になります。

個別化医療を可能にするには、従来よりも多くの検査を実施する必要があるかもしれません。血液検査が定番であると一般的にみなされていますが、生体検査 (組織の一部を切り取る) では麻酔が必要とされ、分析により長く時間がかかることがあります。患者と医師は検査に関して決定を下す際に、その長所と短所を議論する必要があります。

ある検査で、医薬品に患者が反応する可能性はどれくらいなのか予測する場合、その結果は、「確率」 (3 回に 1 回など) また

はパーセント表示 (33 %) で表現されるでしょう。人によってリスクの受け止め方が違うため、医師はリスクの解釈の手助けをする必要があります。

追加資料

Genomics England
Nuffield Council on Bioethics (2010).Medical profiling
and online medicine:the ethics of ‘personalised healthcare’ in a consumer age.
Corpet, A. & Almouzni, G. (Dec 2006-Jan 2007).Sciences
et Avenir, 149

添付文書

A2-1.08.4-V1.4